

シンポジウム & コンサート -Simposio en la Sala del Cielo-

社会を形作る音楽

南米ベネズエラ発・音楽教育による創造性のマネジメント

入場無料
予約不要



photo: Nohely Oliveros

2016年11月21日(月)
18:30 ~ 20:30

18:00 開場
18:30 第1部 講演会
19:30 第2部 コンサート

講演:

コロンえりか (ソプラノ歌手、駐日ベネズエラ・ボリバル共和国大使夫人)

本條晴一郎 (法政大学イノベーション・マネジメント研究センター客員研究員)

演奏:

ベネズエラ音楽アンサンブル・5años (シンコアーニョス)

豊田健 (ギター、クアトロ、バンドーラ、マンドリン)

武田裕熙 (フルート、歌、クアトロ)

牧野翔 (マラカス、ケーナ)

黒本剛史 (ベースギター)

法政大学市ヶ谷キャンパス
ボアソナード・タワー 26階
スカイホール

JR・地下鉄市ヶ谷駅 / 飯田橋駅徒歩 10分

問い合わせ先: vzla.music.jp@gmail.com

主催: 法政大学イノベーション・マネジメント研究センター

<https://riim.ws.hosei.ac.jp>



「楽団」という組織形態から学ぶ、 クリエイティブな社会の作り方！

オーケストラ教育によって若者を取り巻く社会環境の改善を行うエル・システマの活動はベネズエラから始まり、いまや世界中に広がりを見せている。日本においても東日本大震災後、福島県相馬市や岩手県大槌町で子どもオーケストラが組織され、その活動が復興の一助となっている。エル・システマの活動は、社会起業と捉えることが可能であり、また、楽団という組織がイノベーションを起こしやすい即興的組織の理想モデルとしてしばしば分析対象となることから、経営学的な分析の対象となる。

本シンポジウムの第1部では、ソプラノ歌手であり駐日ベネズエラ大使夫人であるコロネリカ氏によるベネズエラ本国でのエル・システマおよびエル・システマジャパンの活動報告に続き、イノベーションを生みやすい組織形態とソーシャルビジネスの関わりについて研究報告を行う。

第2部では、即興的組織の典型例である小編成の楽団による演奏を、ベネズエラ都市音楽アンサンブル・5añosが披露する。多様な文化を背景に持つベネズエラの民俗音楽に引き続き、オペラ歌手のコロネリカ氏を迎えた演奏で音の創造的変化を体感していただく。

シンポジウム終了後には、シンポジウム登壇者と参加者を交えての懇親会を行う。



講演者 / 演奏者プロフィール



コロネりか

ベネズエラ生まれ。聖心女子大学で学んだ後、英国王立音楽院声楽科修士課程を優秀賞で卒業。国内外でソリストとして活躍。2015年は井上道義指揮、野田秀樹演出による『フィガロの結婚』にてバルバリーナ役を好演。特に「被爆マリアに捧げる賛歌」の演奏を通して、世界各地で長崎からの平和へのメッセージを発信している。エル・システマ・ジャパンスペシャルアドバイザーを務める。



本條晴一郎

フィールドサイエンティスト／サイバネティクス学者。聴覚系の数理科学研究で博士号取得の後、経営学分野で、現場の知恵の基づいた価値創出であるユーザーイノベーション、および、消費者の創造性を引き出すマーケティングコミュニケーションの学術研究を行っている。クアトロ奏者として2014年ベネズエラツアーを経験。



5años
(シンコアーニョス)

民俗伝統音楽を基礎とし、クラシックやジャズを取り入れ洗練された、不思議な近現代ベネズエラ音楽の世界を表現する弦楽アンサンブル。東京大学ベネズエラ音楽団「Estudiantina Komaba」メンバーを中心に2015年に結成された。「音楽には宴を、宴には音楽を」をモットーとし、都内各地を中心に演奏活動を展開する。